

事業番号	05 07 13	事業改善シート (27年度実施事業分)				<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	老人福祉施設等整備事業					担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト					課・室	介護支援課		
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 1 高齢者福祉の推進				E-mail	<a href="mailto:kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp">kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp</a>		
						実施期間	S48 ~		

## 1 事業の概要

目指す姿	第6期長野県高齢者プラン(H27年度～29年度)に基づく特別養護老人ホーム等の施設整備を計画的に進めることにより、特別養護老人ホームの待機者数を減らすとともに各圏域のサービス見込み量に応じたサービス基盤の整備を目指す。
------	---

現状(予算編成時)	平成26年度末の広域型特別養護老人ホームの定員見込数は10,917人であるが、在宅での入所待機者数は平成25年度末で4,865人となっている。第5期高齢者プランの施設整備目標はほぼ達成見込みであるが、入所待機者の待機期間の短縮や必要なサービスを受けることができるよう、第6期プランにおいても特別養護老人ホームをはじめとする施設サービス基盤を計画的に整備していく必要がある。
-----------	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：実施は困難	第6期長野県高齢者プランに基づき、県が関与して整備を進める必要がある。 老人福祉施設等整備事業補助金交付要綱

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	○特別養護老人ホームの入所定員数 11,115人(長野市分を含む。)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	1. 老人福祉施設等整備事業補助金	補助金	・特別養護老人ホームの整備 創設1件、増築1件(入所定員数 69人の増) ・養護老人ホームの整備 改築1件 ・繰越事業 (特別養護老人ホーム1、介護老人保健施設1) ・介護老人保健施設の整備 (H27は該当なし) ・訪問看護事業所の整備 (H27は該当なし)	1,327,670	462,224	1,070,035
合計			1,559,815	830,798	1,113,053	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越	264,047	156,103	134,550	66,840
	当初予算	1,444,305	1,362,024	1,559,815	1,113,053
	補正予算	-454,350	-506,720	-796,727	
	合計(A)	1,254,002	1,011,407	897,638	1,179,893
	Aの財源				
	一般財源	55,314	6,407	2,638	7,893
	県債	1,190,000	1,005,000	895,000	1,172,000
	国庫支出金				
	その他	8,688	0	0	0
決算額(B)	1,097,899	876,857	830,798		
概算人件費					
職員数(人)	1.50	1.50	1.50	1.50	
概算人件費(C)	12,387	12,387	12,414	12,414	
概算事業費(B(A)+C)	1,110,286	889,244	843,212	1,192,307	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
特別養護老人ホームの入所定員数	10,894人	11,115人	11,139人	達成	11,240人

目標に対する成果の状況	○第5期高齢者プランの広域型特別養護老人ホームの整備計画数11,035床に対し10,894床を整備した。141床の減となったが、地域密着型特養への移行整備が127床あり、特養全体では計画12,293床に対し12,221床の整備となり、ほぼ達成された。(5期中の整備数1,793床) また、重度(要介護4・5)の方の入所待機期間は13.4月(H22年度)から11.7月(H25年度)へ短縮した。 ○H27年度は第6期高齢者プランの初年度であることから、一部施設が整備着手に至らなかったが、創設・増築やショートからの転換を進めた結果、目標を達成できた。また、在宅での入所待機者数は、制度改正により入所者は原則要介護3以上となったこともあり、H27年3月末現在4,457人からH28年3月末現在2,638人へ減少した。
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	特別養護老人ホームの入所待機者数の縮小・待機期間の短縮に向けて、第6期高齢者プランに基づき計画的に整備していく。